

2026 年 5 月 13 日
出光興産株式会社

インドの ALOK 社と戦略的協業の共同検討を開始、 SPS 樹脂の新興市場への展開を加速

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）は、インドのコンパウンド※¹ メーカー ALOK Masterbatches Pvt. Ltd.（Managing Director：Vikram Bhadauria、以下「ALOK 社」）と、SPS（シンジオタクチックポリスチレン）樹脂※² を用いたコンパウンド製品の製造・販売に向けた戦略的協業に関する共同検討を開始しました。本共同検討では、ALOK 社が当該製品の製造・販売体制を構築し、インドを中心に新興市場で 2026 年中の販売開始を目指します。

※¹ コンパウンド：樹脂に添加剤などを配合・混練し、用途や性能に応じた材料に加工すること。例えば、耐熱性や寸法安定性（温度や湿度などの環境変化で寸法が変化しにくい性質）を高めた材料として、電気・電子機器や自動車分野の部品などに使用されます。

※² [SPS（シンジオタクチックポリスチレン）樹脂](#)：高耐熱性、優れた寸法安定性、高い絶縁性を兼ね備えた当社が独自に開発したエンジニアリングプラスチック。

成長著しい新興市場では、人口増加や産業の高度化を背景に、高機能樹脂材料の需要拡大が見込まれています。こうした市場環境を踏まえ、当社は SPS 樹脂事業における新興市場の開拓を一層強化します。その一環として、インドに製造・研究開発拠点を有し、同国をはじめ新興市場を中心に世界各地で事業を展開する ALOK 社との協業を検討します。

具体的には、当社による SPS 樹脂の供給やコンパウンド設計に関する技術的知見の提供と、ALOK 社によるコンパウンド製品の製造・品質保証、同社の強固な販売ネットワークと豊富な市場知見を活用した販売・マーケティングなどについて共同で検討を進めます。また、本取り組みを通じて同社との協業の拡大も図ります。

当社は、ALOK 社との協業によりインドで事業基盤を確立するとともに、同国を中心とした新興市場へ展開を加速します。

なお、本共同検討は、[当社中期経営計画（2026～2030 年度）](#)で掲げる高機能材料事業の拡大および海外市場での事業展開の加速に向けた取り組みの一環です。



基本合意書（MOU）調印式の様子
（左：当社専務執行役員 中本肇、右：ALOK 社 Managing Director Vikram 氏）

【参考】ALOK 社 概要

ALOK Masterbatches Pvt. Ltd.は、1993 年創業のインドのマスターバッチ（樹脂製品に色や機能を付与するための濃縮ペレット材料）および樹脂コンパウンドメーカーです。カラーマスターバッチや各種添加剤マスターバッチ、樹脂コンパウンドなどを展開し、自動車、包装、農業、家電日用品など幅広い分野に製品を供給しています。

URL：<https://alokmasterbatches.com/>

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html